

伊佐見小学校 活動報告

本校では、「Let's enjoy communication」「あたたかな心で受け止め、思いをつなげる子」の育成～「聴いて考えてつなぐ学習」を通して～を研究テーマに掲げ、外国語を通して communication を図る中で、相手の思いを受け止めるとともに自分の思いを伝え、そのようなかわりの合いの中から自分や友だちのよさに気づいていけるような子供の育成を目指している。そして、小学校英語教育全面実施を円滑に迎えるために以下の取り組みをしている。

1 外国語活動に対する学校全体での取り組み

(1) TTでの授業…全職員のスキルアップ

- ・1・2・5年、3・4・6年の学年集団（チーム）の縦割り学級でグループを組み、5・6年生の外国語活動の授業を年間1回程度、1～4年生の担任がT1として実施した。夏休みには、クラスルームイングリッシュや、ゲームのやり方、指示の出し方などについて研修の時間を設けた。

(2) Hello Time（ハロータイム）…高学年における外国語活動の予行学習

- ・1～4年 水曜の朝の活動（8：00～8：10）
- ・英語の歌を歌ったり、色や動物、食べ物などのカードを使い、カルタゲームをしたりする。

2 授業実践

学年 6年 単元名 Lesson 4 道案内をしよう （4時間）

(1) 導入

- ・where do I go ～? これから使う施設の名前を英語で紹介する。
- ・Where is the～?の Chants でフレーズの言い慣れをする。

(2) 活動

- ・what's missing ゲーム
グループになり、出題役をきめる。出題役の人は、他の友達が目をつぶっている間にカードを一枚取って、見せないようにする。
- ・slap ゲーム
他の友達に、なくなっているカードが何かを英語で答える。答えたらカードがもらえる。カードをもらった人が出題者となり、カードがなくなるまでゲームを行う。

3 成果と課題

- ・本実践では、All English の授業を目指して授業を行いました。子供たちは、理解しようと教師の英語によく耳を傾けながら授業にのぞんでいましたが、理解が難しく、導入に時間がかかってしまいました。子供の実態をふまえた上での、授業における教師側の英語の使い方については、今後も研修等を通して、検討していく必要がある。
- ・子供たちが、会話の中で自然と英語を活用できるように、子供たちの反応として、英語による反応（「good.」「great!」などの褒め言葉）を活動の前に紹介した。普段、活用する機会の少ない英語になると、授業での自然な活用は難しい。授業での活用の機会を多く設定することで、そのような英語にも十分に慣れさせて行く必要がある。
- ・外国語活動の授業では、英語を話す、聞く、コミュニケーションをとることなどに楽しさを感じている子が多い。また、リズムに合わせて単語を言ったり歌を歌ったりする活動も好きな子が多いため、リズムにのせて発音する活動は語彙を習得するよい手立てとなっている。
- ・小学校の外国語活動が教科化することや中学校の英語科へのスムーズな移行を考えると「話す」「聞く」に加えて、「書く」という活動も必要になってくる。そのためにも、ワークシートの名前をローマ字で書かせたり、文字の形を意識させるゲームを取り入れたりしていく必要を感じている。